

大規模肥育牛経営と酪農新規参入事例を見学

畜産経営学科2年生が、営農設計の授業の一環として、大規模肥育牛経営を行っている野村牧場と、約10年前に新規参入により酪農経営を開始した井上牧場を見学しました。営農設計とは、自分が農業経営者になった時の目標の姿をどう描くか、経営計画をシミュレーションする授業です。

大規模な飼養頭数を目標とした場合、どのくらいの雇用が必要になるのか、経費はどのくらいかかるのか、新規に畜産経営を始めた場合、こういった課題が出てくるのかなど、経営計画を立てる際に参考となる話を実際に経営者から聞くことができました。また、野村牧場直営の「焼肉野村屋」で昼食をとりながら、6次産業化についても勉強し、有意義な校外学習となりました。



野村牧場で肥育牛経営について説明を受ける学生たち



低コストでありながら、様々な工夫で暑熱対策を施した子牛牛舎(野村牧場)



井上牧場で酪農における新規参入について説明を受ける学生たち



堆肥化施設により利用しやすくなった堆肥(井上牧場)